



2024 年 1 月 10 日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

サンタのお姉さんが勢ぞろい！楽しくメリークリスマス！



失敗の存在

理事長 貝沼 寿夫

あけましておめでとうございます。こうして新たな1年を迎えられましたのも、皆様のご支援のお陰と感謝しております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

業界団体などの会合において、最近必ず話題に出るのが人手不足の問題です。ライフパートナーこぶしでは、現状差し迫った状況ではありませんが、将来を考えると早く手を打たなくてはと考えています。そこで今の世代に合わせた採用活動と考えると、彼らの特徴を調べてみました。思いやりがあり優しい人が多い一方で、堅実的で失敗を恐れ冒険やリスクを避ける傾向があるそうです。確かに彼らが育ってきた環境には、常にネットがあり、調べればすぐに答えが返ってきます。そうした状態ですから、答えがでない問題は不安になり、抵抗感を抱くのは理解できる気がします。

自分自身を振り返りますと、少し彼らに似ていた時期がありました。失敗はしてはいけないもの・悪いものという思い込みがありました。できればそうしたものは避けたいし、周りには知られたくないと考えていました。それでもこれまで沢山失敗をしてきましたし、むしろ人より多いのかもしれないですね。してはいけない避けたいということをしてしまうという事実、心の中で認知的不協和を起し、相当ストレスも抱えました。その不協和を解消できたのは、失敗を学びに繋げ、より良いものに変容させていくためには、失敗も不可欠ということ

を知ったからです。組織や職場においても、私が社会に出た頃の頃は失敗はあつてはいけないものという認識が多かったように感じます。最近では、むしろ失敗を歓迎する傾向があります。龍鳳の各事業所でも、懺悔の会と称して自分の失敗や間違いを発表する取組があります。こうした取り組みによって、これから入職してくる職員が安心して働ける環境の一助になると思います。

失敗の科学（マシニュー・サイド著）によりますと、医療業界と航空業界の事故率の差は、失敗に対する姿勢にあると記されています。医療については、アメリカは訴訟も多く、個人の責任になりがちなのだそう。飛行機事故では、ブラックボックス等を活用して、徹底的に事故の要因分析をし、決して個人の責任にせず事故防止に繋げ、飛行機もどんどん進化していくそうです。

また象の鼻やキリンの首が長いのも、人がこうあるのも、環境や生命を維持するために適応していくためです。累積淘汰といわれるようですが、こうした適応と淘汰を積み重ねて進化してきたのです。

エジソンは、「私は失敗したことがない。ただ一万通りのうまく行かない方法を見つけただけだ」と言っています。失敗はしてはいけないものから失敗しても良い風土になってきました。しかし累積淘汰やエジソンの言葉から、結果としての事実が残ります。が、その後のより良い変容があれば失敗は存在しないと言えるのかもしれませんが。



＜中村 恵美子＞ 清瀬事業所生活支援員

いつもは無口な M さん。
職員が鼻歌をうたっていたら、続けて同じリズムで歌ってくれました。
そして素敵な笑顔も◎リズムに合わせた返事もとてもチャーミングでした♪

清瀬の遠足の日。お留守番だった S さん。
給食がなかった為、職員と一緒にご自分の昼食を全て作りました！
切る！炒める！盛り付ける！全てご自分で行い 「写真をとって！」とおねだり
とても満足そうにニコニコ召し上がっていました！

キラリ☆と光るこの一枚



日帰り旅行「なんでこんなに美味しいんだ〜！」と皆と出掛け一緒にいる楽しさも味わって食べました！（照井 邦明）



にぎやかカーニバル出演メンバーに急遽抜擢！堂々とした立ち振る舞いでした。（石澤 泉）

ひとの心に届くもの



手芸好きでしたが業務として担当する事は少なく、市役所花交換の生花の管理を続けて来ました。夏の暑さと虫刺され、冬の寒さの中での園芸は決して楽ではなく、植えた花が週明けに萎れていると心で涙したことも多々ありました。市役所花交換に持って行く生花の管理は人員的に困難であり、利用者さんは交換のみで実際に植え替えや管理にあまり参加出来ませんでした。そして生花から造花に変更することで、利用者参加と管理が可能になりました。昨年度に『お花クラブ』として立ち上げ主に担当しています。

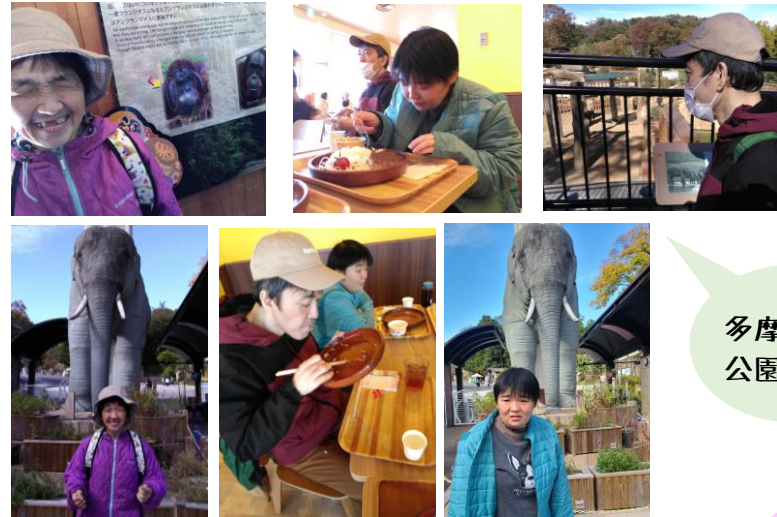
利用者さん用のキット制作と並行し、生花に代わるアレンジメントも 30 点以上制作しました。先日の市役所花交換に同行した職員から「市役所の方が手に取り、『綺麗ですね。』とお褒めの言葉があった」とお聞きしました。

得意な事を活かす場を与えられ、自分の作品に心が動く人がいる。こぶしには十人十色の魅力と働き方がある事に感謝しています。

生活支援員 椎名 恵子

フォトニュース ～12月の様子～

☆プチ旅行に行きました！☆



多摩動物
公園へ！

道の駅
滝山へ！

♡活動・余暇風景♡



餃子のタレと価値観

どうもどうも皆さん、こんにちは！と冒頭の文で挨拶したら怒られますかね？他の職員の方のように、季節は冬を迎え世間は師走で忙しく…のような、堅苦しい文言を書いた方が良いですかね？私は正直、そういった堅苦しい挨拶は苦手なので敢えて書きません。

さて話が逸れましたが、本題です。皆さんは餃子を食べる時は、何のタレを付けて食べますか？醤油だけ？醤油とお酢をいれますか？それとも、お酢に胡椒ですか？もしくは何もつけずに食べますか？

ここで私が個人的にお勧めする食べ方を教えます。第三位・マヨネーズ、第二位・ワサビ、そして第一位はノンオイルの青じそドレッシングです。

マヨネーズと聞いて驚くかもしれませんが、マヨネーズの酸味が効いて美味しいです。続いてワサビですが、油っこい餃子にワサビを付ける事で、清涼感がある美味しさになります。最後の青じそドレッシングは、ポン酢よりも、さっぱりと食べる事が出来ます。

ここでマヨネーズの文字を見て、皆さんはどう思いましたか？気持ち悪いと思いましたが？もしかしたら試してみようと思いましたが？このマヨネーズをかける行為は、私が好んで行っている事で皆さんが、どう思うかは自由です。この行為に対して、文章を読んでいる皆さんと私で、価値観は違いましたか？それとも合いましたか？

ここで知って頂きたい事は、相手の価値観をどう捉えるかで、相手の見方も変わると私は思います。相手の行為に対して、価値観が合わないと思う事も大事だと思います。だからと言って、相手の事を避けた行為や、軽蔑するのは違うと思います。相手の価値観を知る事で、相手の行動や考え方に対し、受け止めた上で「そういう考え方もあるのか」と思う事が大切だと思います。

今回はマヨネーズを例に挙げましたが、普段の対人関係の中で、相手の価値観で戸惑う事があると思います。その時は、相手の価値観を受け止めた上で、「そういう事を考える人なんだ」と捉え方を変えてみてはどうでしょうか？今回のマヨネーズに関しても、私の行為を受け止め、「そういう食べ方もあるのか」と捉えて頂ければと思います。最後に皆さんの好きなタレは何ですか？

研修研究部部長 丸山 耕太郎



自分を肯定しよう！

私が、ライフパートナーこぶしに入職したのは2015年。気付けば年号も変わり、2024年で10年目を迎えます。当時は、施設の仕組みや障害に対する理解もないまま入職し、出来ない自分を責め、先輩と比べて落ち込み沢山泣いてきました。しかし、この9年間を振り返ると自分の成長に必要な体験・経験だったなと感じています。

1つ自分が大きく成長出来たところを上げるとしたら、「人前で話をする」事だと思っています。毎月あるフロア会議で自分が司会になると、前日の夜は緊張で眠れない・夜勤の申し送りでは、8時25分頃になると緊張でお腹が痛くなる…。等々、緊張エピソードは、山ほどあります！もちろん今でも緊張はしますが、1度経験すると「次からはこうしてみよう！」と考えられるようになります。失敗もしたし、成功も沢山してきました。1年目から振り返ると「こんなに成長したじゃん自分！」と褒めてあげたいです。

自分は自分しかないないので、私は凄い！頑張った！と小さなことでも自分を肯定して大切にしていきたいです。

生活支援員 鈴木 摩椰

三井住友信託銀行 障害者愛の福祉基金

三井住友信託銀行様からの助成金で、フロアセンサー1台、スライディングボード1台をこぶしで購入することができました。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

